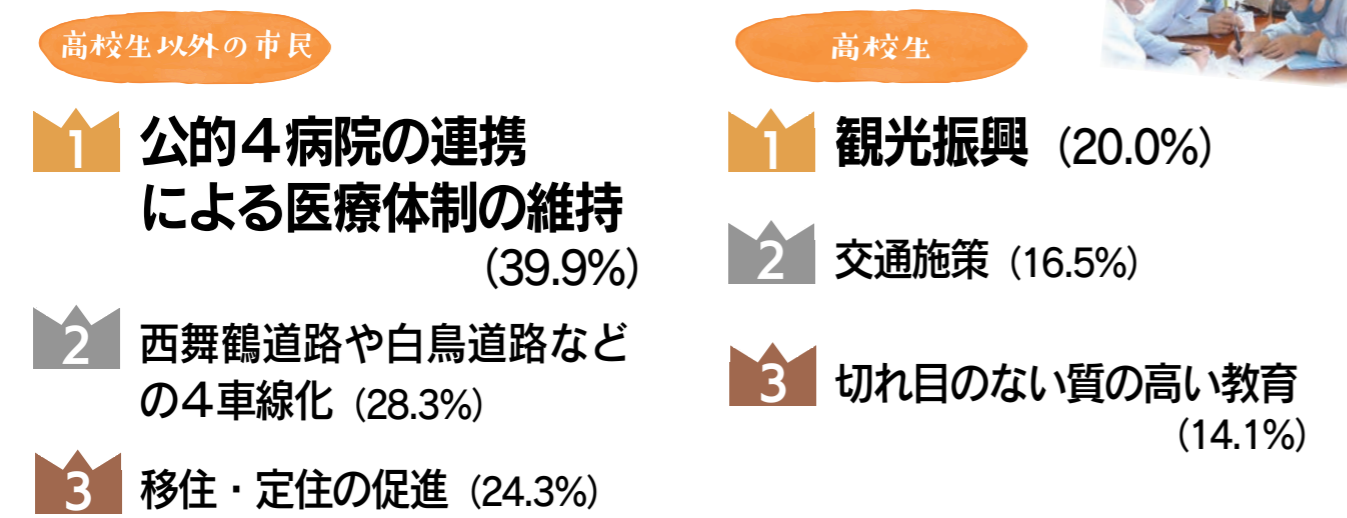


3 市政・イベントなどの情報の入手先は？



4 市が実施している施策で期待しているものは？

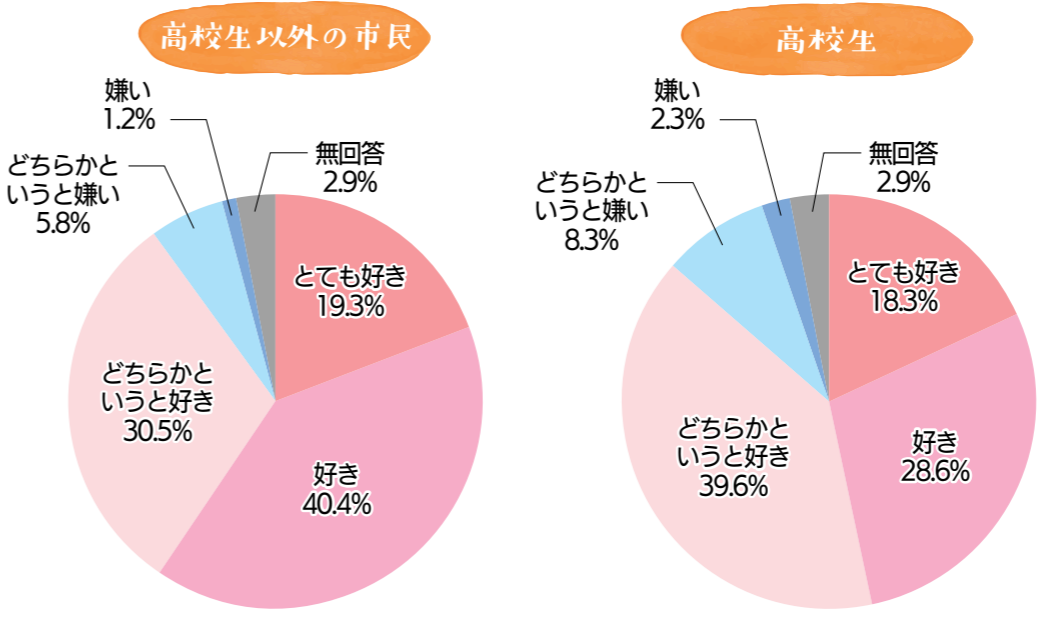


そのほか、一般市民の10代と高校生で「AIやITなど先進技術を取り入れた地域課題の解決や行政事務改革」の割合が高く、若い世代の先進技術への関心が高いことがわかりました。また、子育て世代の30代では「切れ目のない質の高い教育」と「乳幼児教育の推進」の割合が高かったです。

アンケート調査の結果はホームページで公開しています(右コードからアクセス可)。
この結果をもとに、市民の皆さんに親しみを持ってもらえるようなキャッチコピーやロゴマークを作成。これらを活用して次年度以降の活動につなげていきます。
▶詳しくは、舞鶴市シティブランディングプロジェクト事務局(広報広聴課内、☎66・1041)へ。

プレゼント抽選会
アンケートに回答いただいた人の中から舞鶴かに®などが当たるキャンペーンの抽選会を行いました。
当選者の皆さんおめでとうございます！

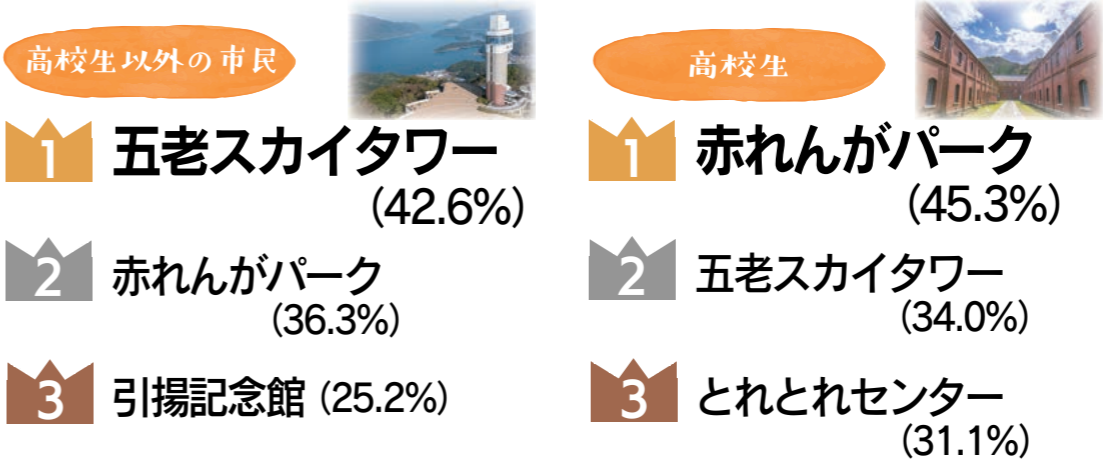
1 舞鶴のことが好きですか？



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%を超える場合があります。

「とても好き」「好き」「どちらかという好き」を合わせた『好き』の割合は、高校生以外の市民(以下、市民)が90.2%、高校生が86.5%。「どちらかという嫌い」「嫌い」を合わせた『嫌い』の割合は、市民が7.0%、高校生が10.6%と、いずれも『好き』が『嫌い』を大きく上回りました。市民の年代別で「とても好き」と答えた割合が最も高かったのは10代で38.5%でした。

2 市外の人におすすめしたい「観光地や施設」は？



一般市民、高校生共に五老スカイタワーと赤れんがパークがランクイン。引揚記念館は、特に70代と80代以上の割合が高かったです。

◆調査概要
 ◆目的…市内外の皆さんの舞鶴に対するイメージや魅力の洗い出しを行うため
 ◆調査期間…令和2年11月28日～12月23日
 ◆対象…①住民基本台帳から無作為に抽出した市内在住の20歳以上2,000人
 ②市内3高校に通う生徒 ③市内外の有志
 ◆調査項目…全21項目 ◆回答総数…3,318件
 ◆有効回答数…(一般)1,999件、(高校生)1,304件